

バイオスティミュラント含有肥料

環境の変化を共に乗り越える

# 常識。 提案。 発想。

環境ストレスに強い  
作物へ導く新提案

作物の健全な生育を  
促進する新常識

省力的な  
散布方法にも  
対応する新発想



だいたいの生育向上・  
着莢数増加に貢献※

※効果は栽培条件や環境要因により、変動する  
場合があります。

 **アビオスリー<sup>®</sup>F**

**syngenta.**

アビオスリーFの  
詳しい使い方は  
コチラ →



シンジェンタ ジャパン株式会社

本製品をご使用の際には、ご購入先、または当社ウェブサイトなどで最新の製品情報をご確認ください。

®はシンジェンタ社の登録商標

®



アビオスリーFは、3つの新しいアプローチで土壌と作物の調和を促進し、作物の健全な成長と環境ストレスに強い体づくりをサポートするバイオスティミュラント含有肥料です。

アビオスリーFの製品特長

1 作物の健全な生育を促進する  
"シン"常識

土壌環境の改善と健全な根張りにより、作物の健全な生育を促進。収量・品質の改善に貢献します。

2 環境ストレスに強い作物へ導く  
"シン"提案

植物の代謝を刺激して、光合成の活性化を促します。土壌環境との相互作用で環境ストレスなどの成長阻害からのダメージを軽減します。

3 省力的な散布方法にも対応する  
"シン"発想

茎葉散布・種子処理・灌注処理・植溝内土壌散布など多彩な処理方法に対応します。

アビオスリーFの主な成分とその働き

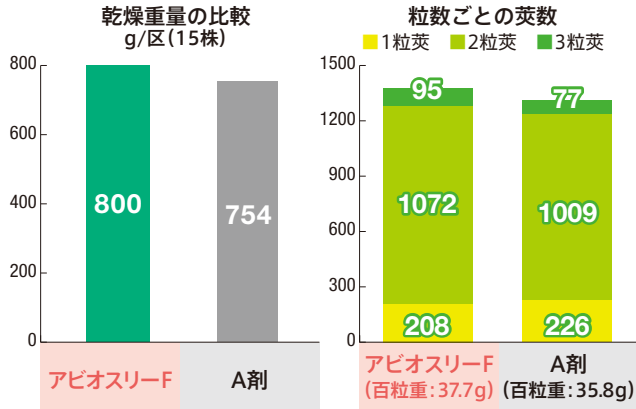
植物原料を発酵させ、海藻抽出物および各種微量元素をバランスよく配合した成分が植物の代謝を刺激して複合的に作用します。



だいでずへの使用事例



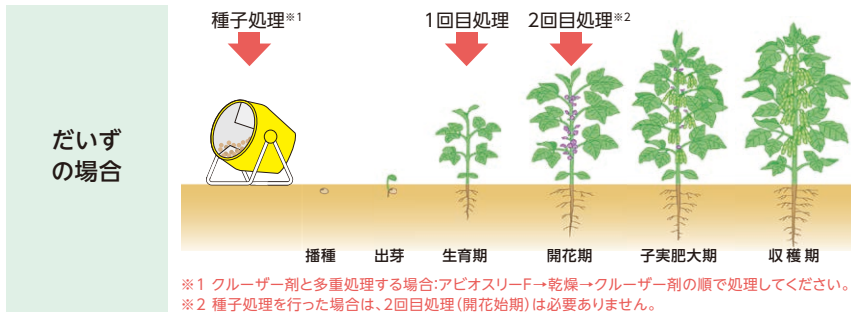
2025年シンジェンタジャパン(株)社内試験  
試験年：2025年 試験場所：埼玉県加須市現地圃場 品種：行田在来 播種日：2025年8月1日  
処理方法：播種前に試験区はアビオスリーF 5ml/kg種子、慣行区はA剤 3ml/kg種子を塗布後、両区ともフルーザーMAXX 8ml/kg種子で種子処理を実施した。 調査日：2025年11月11日  
調査方法：3区から15株を抜き取り、分けつ数・莖長・莢数・粗重量(莢付)を測定。莢を乾燥後、12月24日に脱莢し、3区分分の乾燥重を測定。7.3mm篩にて選別後、百粒重を測定。



※結果は栽培条件により異なる場合があります。

上手な使い方

- 本製品の標準使用量は100mℓ/10aです。●原液(種子処理時)~2,000倍希釈まで、幅広い濃度で使用可能です。
- 1作期あたり、生育初期と中期の2回散布がおすすめです。



処理	タイミング	使用方法	おすすめの使用量
種子処理	播種前	種子塗布後、乾燥	乾燥種子 1kgあたり5mℓ
1回目処理	防除1回目・除草剤散布のタイミング	茎葉散布	100mℓ/10a (1,000倍、 散布水量 100ℓ/10a)
2回目処理	開花始期		

日本バイオスティミュラント協議会自主基準に基づく表記	
BS製品の分類	その他(植物発酵液)
BSの主たる効果・効能	光合成改善 根圏の有用微生物の活性化 収量改善

登録番号：輸第109143号 肥料の種類：液状肥料  
保証成分量(%)：窒素全量…1.0 水溶性マンガ…0.20  
原料の種類：尿素、マンガン含有物、液状肥料(植物由来物質、菌体由来物質)、加里含有物

●使用に当たっては、製品ラベルをよく読んでからご使用ください。●農地・作物以外には使用しないでください。●本製品は小児の手の届く所には置かないでください。●使用後の空容器は、ほ場などに放置せず適切に処理してください。

- 本製品は有機物を含みます。開栓後はカビなどが発生することがありますので、できるだけ早く使いきってください。
- 本製品の品質や効果が低下するおそれがありますので、高温・多湿や直射日光、0℃以下の場所をさけて保管してください。
- 散布の際は保護眼鏡、農業用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用してください。作業後は手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをしてください。

シンジェンタ ジャパン株式会社  
〒104-6021 東京都中央区晴海1-8-10 オフィスタワーX21階  
www.syngenta.co.jp

